

Ti-Ni合金における変位型相変態の動的観察による組織形成機構の解明

副島, 洋平

<https://hdl.handle.net/2324/4110529>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	副島 洋平
論 文 名	Ti-Ni 合金における変位型相変態の動的観察による組織形成機構の解明
論文調査委員	主 査 九州大学 教授 西田 稔 副 査 九州大学 准教授 原 徹 副 査 九州大学 工学研究院 教授 村上 恭和

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は Ti-Ni 形状記憶・超弾性合金の変位型相変態の動的顕微観察技術を確立し、それに基づき熱弾性マルテンサイト変態に伴う組織形成過程を解明し、自己調整構造に及ぼす材料学的諸因子の影響を明らかにしたものであり、材料組織学、結晶物性工学の発展に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。